



令和7年度

園だより さよなら号



あの子ども この子ども みんなの子

福)五和会
保育所型認定こども園
五和保育園

長い卒園式「どうする?」「リズムあそびがいい。でもね、小さな音でやった方がいいよ!!」

早いもので、土曜日は卒園式です。朝、年長のお部屋に向かうと、それぞれにけん玉・ラQ・粘土・ままごととお友達と穏やかに遊んでいました。何気ないこの穏やかな一時こそ「大切な思い出の時間だな」とうっとり眺めていました。先週は卒園お祝いウィークで、年長さんとそれぞれの年齢が楽しみました。年長さんのやさしさ大発揮でした。

卒園までの時間も「どうしたい」「こうしたいよ」の子どもの思いを聴き、大切に思いを紡いできました。

50人の時間かかる卒園式。練習でも飽きてしまう様子も見られました。担任達は「飽きちゃったらどうする?」と子どもに問いかけてくれました。「いつものリズムあそびやったら」「でもね、泣いちゃっている人もいると思うから、あんまり大きたたかなくて、小さい音でやった方がいいと思う!」場に応じた振る舞いまで考えて発言できる、その発言を「うんうん」と聞いてくれる先生や友達がいる事。大きくなったなあと嬉しく思いました。

最後の日まで、私達職員は、一人ひとりに「あなたに出会えてうれしかったよ」の思い出話をしていきますね!!



自分達で考えたミッションをくじ引きして楽しい時間を過ごしました!!



《保護者アンケートより》

毎年年度末に行っている保護者アンケートです。短い時間でしたが、多くの方に応えていただきありがとうございました。至らぬ事がばかりの中で、このような励ましの言葉を沢山いただけた事は、本当に日々の保育に価値をつけていただき、こちらこそ感謝です。

- あの子もこの子もみんなの子というように、担任ではなく先生方もこどもの名前を憶えていてくれる。
- たくさん先生方が、優しく見守ってくれている様子が良くわかり安心して預けられた。
- 子どもの思いを汲み取ったり、子ども自身が選択する機会をすこく作ってくれる。
- 興味ある事ことごとく取り組む。体を動かす事が大好きな子に育たなあとと思う。
- 本物の自然、本物の動物、本物の文化に触れる機会をつくってくれる。
- 給食やおやつのパリエーションが豊富で、いろいろ工夫して子どもを楽しませてくれる。
- どの先生も話しやすく親身になってくれた。○小さな怪我もきちんと説明して下さい安心して。
- 担任の先生が、暖かく丁寧に寄り添って下さり、手のかかるわが子にもその子に合った関わり方をしてくれた。

また、発達支援についての貴重なご意見もいただきました。

★在園の時、特に園から指摘されることなくきて、就学してからとても苦労した。発達の診察まで半年、検査と結果まで3カ月以上。トータルで9カ月以上かかった。早めに教えてもらえれば定期的に余裕もてる。

支援級に入る事は恥ずかしい事ではない。支援級に入ったお陰で子どもが自分らしく過ごせているし、学習ペースも合わせてもらえるし、とてもいい所であることを保護者の皆さんに伝えてほしい。

支援級の良さを実感されたからこそその貴重なご意見ありがとうございます。私共心理士ではありませんので「指摘」はしませんが、「あった出来事・姿・困っている心持ち」等はすべて保護者の方にはお伝えするようにしております。その後、相談にかかったり検査を受けたり、そして悩まれたりします。園として担任を中心に保護者の不安に寄り添えるよう努力し、関係機関とつなぐ役割を果たしていきたいと思っております。また、どんな子でも過ごしやすい保育環境を作るよう、研修を重ねてまいります。

また、様々なご意見もいただきました。職員と話し合い、この紙面ではスペースが足りないのですが、後日ルクミーにて一つひとつに対してお応えさせていただきます。

△奉仕作業が各家庭で1回の周知が足りなかった事、奉仕作業の指示不足、写真の事、運動会・発表会の行事の工夫、人数制限について、祖父母触れ合いの時期、等のご意見もいただきました。

△「人によっては相談しにくく、突き放されショックだった」のご意見もあり、職員全員が自分事としてとらえいくよう伝えていきます。

△「連絡帳のデジタル化は嫌だなと感じる方が多かった。」保護者の皆様との関係もデジタル化にならないよう、大切に丁寧に関わっていきたいと思います。

